

第8回定期演奏会

たいへんお待たせしました!!

土曜の午後はステキにクラシック

2022年

8月27日(土)

14:00開演(13:20開場)

入場無料

加古川ウェルネスパーク アラバスクホール

加古川市東神吉町天下原370 TEL:079-433-1100

■JR・バス

JR加古川駅下車、神姫バス約20分「ウェルネスパーク」下車

■車

加古川バイパス「加古川西ランプ」より北へ約1km、

「東神吉西」交差点を右折し東へ約1.2km、

ウェルネスパーク案内板を左折し北へ約0.9km。

山陽自動車道「加古川北IC」より南へ約6km、

「東神吉西」交差点を左折し東へ約1.2km、

ウェルネスパーク案内板を北へ約0.9km

バッハ(J.C.)

◆シンフォニア 変ロ長調 Op.18-No.2

モーツァルト

◆クラリネット協奏曲 イ長調 K.622

独奏：古川 敦子

ベートーヴェン

◆12のコントルダンス WoO.14

ハイドン

◆交響曲第80番 二短調 Hob.I:80

<お問合せメールアドレス>

webmaster@collegium-musicum-del-cervo.net

※メールアドレスのQRコードはこちら→



<ホームページ>

http://collegium-musicum-del-cervo.net/

f コレギウム・ムジクム・デル・チェルボ

後援 加古川市教育委員会

加古川フィルハーモニー管弦楽団



～ ご来場のお客様へお願い ～

当コンサートは新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、お客様情報のご提出をお願いしております。混雑緩和のためあらかじめ下記「来場者カード」にご記入・キリトリの上、ご持参願います。

来場者カード (お一人につき1枚ご記入をお願いします。)

氏名

住所

電話番号

このカードは、必要に応じて保健所等公的機関への提供を行う場合があります。

ご提出後、責任をもって管理し、保有を継続する必要がなくなり次第、適切な方法により廃棄します。

ご来場の皆さまのご協力をお願いいたします。

コレギウム・ムジクム・デル・チェルボ (Collegium Musicum del Cervo)

兵庫県加古川市を拠点として、2012年に誕生。30代から60代までの幅広い年齢層のメンバーで構成される室内合奏団。加古川の旧表記「鹿見川」にちなみ、イタリア語で「鹿の音楽集団」と命名。通称、「チェルボ」(鹿)。
モーツァルトやハイドンなどの古典派の作品を主なレパートリーとし、メンバーが互いに議論することで作品の解釈を深め、アマチュアでありながら質の高い音楽作りを目指す。現在メンバーは23名(ヴァイオリン8名、ビオラ3名、チェロ3名、コントラバス1名、フルート2名、オーボエ1名、クラリネット2名、ファゴット2名、ホルン1名)。

Notes

シンフォニア 変ロ長調 Op.18-No.2 (J.C.バッハ)

ヨハン・クリスティアン・バッハ(1735-1782)はドイツの作曲家で、ヨハン・セバスティアン・バッハの末子です。オペラ音楽に影響を受け19歳でドイツを離れ、イタリアに渡り活躍します。その後さらにロンドンに行き、オペラなどの上演に関わります。ここで彼は幼きモーツァルトに出会い、直接大きな影響を与えます。亡くなるまで滞在し「ロンドンのバッハ」と呼ばれました。1781年に出版されたこの交響曲は3つの楽章に分かれていて、クリスティアン・バッハ最高の作品の一つとして知られています。

クラリネット協奏曲 イ長調 K.622 (W.A.モーツァルト)

この曲は1791年にモーツァルトの親友であり、フリーメイソンの同志だったアントン・シュタッドラーのために作曲されました。モーツァルトが亡くなる僅か2ヶ月前に書かれ、この曲が最後の器楽曲となりました。

クラリネットの幅広い音域それぞれに応じて変わる音色を十分に生かすと共に、オーケストラとのアンサンブルも緻密に構成された曲となっています。その澄み切った曲想あるいは静かな諦観から、彼の「白鳥の歌」と呼ばれることもあり、明るさと高貴さ、更には純真無垢な部分を合わせ持つ美しい作品です。

12のコントルダンス WoO.14 (L.V.ベートーヴェン)

コントルダンスとは、イギリス起源の2拍子のカントリーダンスが、18世紀のフランスで宮廷舞曲として洗練された舞曲です。男女がグループになって対面して踊るため、日本語では「対舞曲」とも訳されます。ピアニストとして活躍したウィーン初期に作曲された作品で1795年から1802年まで(25~32歳)に作曲された華やかな舞曲集です。第7曲と第11曲を連結したものが1801年のバレエ音楽《プロメテウスの創造物》終曲に用いられ、第7曲はさらに1802年のピアノの変奏曲Op.35や、1803/04年の交響曲第3番《エロイカ》終楽章の変奏主題として用いられています。第9曲までは、ベートーヴェン本人が編曲したピアノ独奏版もあります。

交響曲第80番 二短調 Hob.I:80 (F.J.ハイドン)

これまでチェルボでは、ハイドンの交響曲のうち83番「めんどり」、101番「時計」などを演奏してきました。80番は今までのようなニックネームを持ち合わせていない交響曲の一つです。イギリス交響曲(77番~79番)とパリ交響曲(82番~87番)の間に位置し単発で演奏される機会も少なく、どちらかといえば影を潜めた作品です。二短調、4分の3拍子の冒頭は悲劇的な音楽が始まりそうなのですが、その後見事にはぐらかされ、のんびりとした終結主題で終わります。全体的には滑稽的で軽快さを備えており、とても聞きやすい音楽ではないかと思えます。奏者としていたしましては、4楽章の永遠と続くシンコーペーションに迷子にならないことを祈っています。

【新型コロナウイルス感染症予防対策にご協力をお願いいたします。】

1. 当日体調のすぐれない方や37.5℃以上の発熱のある方は、ご来場をご遠慮ください。
2. ご来場の際はマスクをご着用ください。
3. お客様情報提供にご協力をお願いいたします。
(新型コロナウイルス感染者が確認された場合の追跡にのみ使用いたします。)
4. ホール入場前の消毒、検温、お客様情報の記載等のため、時間にゆとりをもってご来場ください。
5. 出演者への花束、プレゼント等はお受けしかねますのでご遠慮ください。

※状況により対応に変更が生じたり、やむを得ず公演が中止となる場合は、ホームページ、Facebook上でお知らせし、当日ホール入口にその旨掲示します。

※新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)のインストールを推奨します。



Google Play

App Store

新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)のインストールは、Google Playサイト(アンドロイド携帯など)もしくはApp Storeサイト(i-Phoneなど)からダウンロードできます。詳しくは厚生労働省ホームページをご覧ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

